

2024.9.11
山陰中央新報

「LGBTQ配慮を 出雲市へ施策提案書

青年会議所

性的指向や性自認に関わらず生きやすい社会を目指そうと、出雲青年会議所のメンバーがこのほど、LGBTQ（性的少数者）への配慮を求める提案書を出雲市の飯塚俊之市長に手渡した。

提案は制服の自由選択や呼称の「さん付け」、市の



飯塚俊之市長（左）に提案書を手渡す江角彰則出雲青年会議所理事長＝出雲市今市町、市役所

「福祉のまちづくり条例」の対象を、障害者や高齢者に加えてLGBTQも含めるよう求めた。

同会議所の江角彰則理事長から提案書を受け取った

飯塚市長は「多様な性に関する人権は総合振興計画に明記している。教育現場を含め、全この人に配慮した施策を進めたい」と述べた。

一方、福祉のまちづくり条例の対象拡大については、LGBTQが障害だと認識される恐れがあるとして、慎重な考えを示した。

江角理事長は「目指すところは市も同じと認識した。誰もが思いやれる地域づくりに一緒になって取り組みたい」と話した。

（黒沢悠太）